



吉岡和江
教育福祉常任委員長



高野洋一
建設常任委員



武野裕子
市民環境常任委員長

つねに市民目線を貫いて

9月の定例会は、共産党の3人の一般質問に加え、決算等審査特別委員会でも市民目線で質疑を行いました。

マイナ保険証

紙の保険証をなくさないで！ 保険証廃止に伴う条例に反対

政府は現行の健康保険証新規発行を2024年12月2日に停止し、マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」に一本化する方針です。しかし現行の健康保険証を廃止することには大きな問題があると考え、関連する条例改正に反対しました。

取りミスや災害時で読み取り機が使えないことがあったため、マイナ保険証利用者が資格内容を簡

易に把握できるよう「資格情報のお知らせ」が交付されます。無駄に税金が使われ、担当の事務作業もさらに増えるのです。現在の保険証を残せばよいことではないでしょうか。

7割が延期・中止を求めている
どの世論調査でも、延期・中止が7割を超え、多くのメディアが中止・見直しを主張しています。医療関係者からは切実に保険証存続を求める声があり、「マイナ保険証に対応できない」というまちの診療所が閉院する例も相次いでいると報道されています。

生涯学習センター 利用時間が再び変更… 反省し教訓をいかすこと

生涯学習センターについて、午前中が利用しづらいつという声を踏まえ、市として改めて行ったアンケート調査等により、9月議会の条例改正に至りました。2年前の当時から、きちんと利用団体等の意見を聞いて再検討してほしいという声を聞いていれば混乱は生まれませんでした。

以上前の当時において、明らかに困るという声が市民や利用団体から出ている事実を認識しなかった。その点にこそあるのです。二度と繰り返してはなりません。

健康保険証は全国民に発行するもの

そもそもマイナンバーカード取得は任意であり、健康保険証は法律で全国民に発行しなければなりません。マイナ保険証に一本化することに無理があります。政府は12月2日以降にマイナ保険証を持つていない人には「資格確認書」が申請なしで交付されます。マイナ保険証でも読み

関係者にきちんと聞かずに決めては困る、特に利用時間区分の変更は困るといふ市民の声、そして議会の意思を尊重しなかった誤りの結果が、今回の条例改正ということになります。そうした認識を市長と教育委員会はきちんと持ち、反省すべきです。当時から問題なのは、利用時間区分の「2時間枠がベストだ」という感覚を持つてもらえなかったこと」ではなく、2022年10月の施行から半年

なお、今回の条例改正には、ホールは含まれておりませんが、合唱やコンサートを行っていただく団体などから、今後の改善を求める声があがっています。教育委員会として、さらにホールの利用時間区分等も視野に入れた検討を行う必要があることを指摘しました。

現在 5区分	9:00~11:00	11:30~13:30	14:00~16:00	16:30~18:30	19:00~21:00	
来年9月から 6区分	9:00~10:00	10:00~12:00	13:00~15:00	15:00~17:00	17:00~19:00	19:00~21:00

市の貯金が 88.3 億円も

津波等の災害対策では「持続型下水道の再整備」を計画中でありますが、財源はどうやって確保するのか。質疑で明らかになったことは、国からの補助金と市債に加えて下水道使用料の値上げだといわれています。

財政運営に問題あり！

市民からは市に対し、たくさん要望が上げられています。高齢者のバスなどの乗車割引、学校給食の無償化、歩きやすい歩道、そして防災対策など。しかしそれらに一向に手が付けられていないのは、財政運営に問題があるからです。

このところ急速にたまってきた市の貯金（財政調整基金）。適正規模の40億円を上回ったのは平成27年から。今では88.3億円に。市はかつて、本庁舎整備をはじめとした大きな事業を進める上で、市債の償還に財政調整基金を使う考えがあると表明しています。

市民の要望よりも大型開発を優先する市の行政運営は、問題だと言わなければならない。鎌倉市の貯金



道路・歩道・緑地の整備 作業体制の強化が必要

市民生活の安全上、もっとも身近な道路や歩道の修繕や河川の草取り、緑地管理や枝払いなどに日々、従事しているのが鎌倉市都市整備部にある「作業センター」です。

全体業務の約65%を直営で行っていますが、かつて8班あったのが、今では3班（5人×3班）しかありません。長期間、市が技能職の雇用をしていないからです。

画像の側溝清掃は住民の方が自治会長を通じて依頼してから長期間が経過した後、ご相談を受けました。



改めて高野議員が道路損傷等通報システムで依頼してからさらに1カ月以上が経ち、ようやく作業が行われました。このように市民の安全上重要な作業に時間を要しているのは体制が不十分だからです。来年度からは2班になってしまいます。必要不可欠な業務であり、市として職員を雇用するよう9月議会の一般質問で強く指摘しました。

「新駅」などの大型開発より、身近な生活に寄り添う市政が求められているのではないのでしょうか。